

学 校 運 営 協 議 会 議 録

開催日時	令和7年6月6日（金） 9時30分～12時00分
会 場	北海道小平高等養護学校 視聴覚室
項 目	概 要
	司会：地域コーディネーター 高橋知希
1 校長挨拶	校長による挨拶（校長：齋藤利文）
2 説明Ⅰ	本校の学校運営協議会、コミュニティ・スクールについて（教頭：三浦智子） 文部科学省の資料を配布及び活用して、学校運営協議会の意義や「地域と共にある学校づくり」の必要性などについて説明した。
3 説明Ⅱ	令和7年度 学校経営方針について（校長 齋藤利文） スライドを活用して令和7年度の学校経営方針について説明を行った。
4 交流	意見交流 【Aグループ】 [活用可能な地域資源（公共交通機関）について] ・福祉バスを活用させていただき、生徒の校外学習を行うことができる ・小平中学校ではスクールバスを活用することもある [人材の確保（臨時寄宿舍指導員の不足）] ・どの業界も働き手不足となっている ・寄宿舍は自立と社会参加を目指すことだけでなく、本来の目的である「遠方に住んでいる生徒（通学が困難な生徒）の生活の場」の役割を果たしているため、人材の確保は急務である ・他の特別支援学校（寄宿舍併設校）では、教育大学の学生が臨時職員を務めるケースが多いが、本管内にはない ・必要に応じて保護者にも声を掛けるなど存続を図れるようにしていく必要がある [地域連携について] ・現場実習先、卒後の就労先として農場も挙げられる ・JAのお力も借りながら、農福連携を目指していけると良い 【Bグループ】 [活用可能な地域資源（公共交通機関）について] ・沿岸バスは減便しているのが現状で、福祉バスはととてもありがたい ・福祉施設ではマイクロバス、他校では部活動の後援で用意されたバスがある ・現状を持続可能なものにしていく必要がある [人材の確保（臨時寄宿舍指導員の不足）] ・社会的に働き手不足により、新卒社員は少ないのが現状 ・他管内では主に大学生や専門学生が臨時職員を務め、卒業と同時に人手不足となったが数ヶ月かけて最低限の人数を確保できたケースもある ・ハローワークで募集しているが近くに専門学校や大学がないため人手不足の解決策が難しいことから、道教委に申し出て予算を確保できないものか [地域連携について] ・今の活動内容で充実しているのではないか ・今年度は総合学習の時数が増えたことで、更に地域と関わる学習活動の機会を増

	やせている [その他] ・ 3年間で生徒は大きく成長している ・ 日曜日には帰舎するという意識があり、楽しく学校生活を送れている
5 報告Ⅰ	本校の新しい教育課程について(教務主任：菊池光春) 令和7年度グランドデザインをスライドで提示しながら、自立活動の時間の新設や総合的な探究の時間の時数が増えたことなど、本校の新しい教育課程について説明した。
6 報告Ⅱ	令和7年度 年間行事予定について(総務部長：牧野文彦) 令和7年度の年間行事予定表をスライドで提示しながら、時系列に沿って行事などについて説明した。
7 報告Ⅲ	学校いじめ防止基本方針について(生徒指導主事：林和憲) 令和7年度学校いじめ防止基本方針をスライドで提示しながら、本校のいじめ防止に向けた取り組みや事案が発生した際の対応などについて説明した。
8 見学	授業見学 2グループに分かれて、1学年：作業学習、2学年：ライフキャリア、3学年：数学の学習の様子を見学した。
9 校長挨拶	校長による挨拶(校長：齋藤利文)